

会議結果報告書

- 1 定例会
- 2 開会日時 平成28年11月22日(火) 午後1時30分
- 3 閉会日時 平成28年11月22日(火) 午後3時40分
- 4 出席者 教育長 委員 4人
- 5 議決件数 3件
- 6 議決の状況

原案可決	3件	承認	0件
一部修正可決	0件	同意	0件
継続審議	1件	報告済	0件
- 7 議事録 別添のとおり

教育委員会定例会議事録

1 会議年月日 平成28年11月22日(火)

2 招集の場所 くすのきプラザ 1F 会議室

3 出席者

教育長	高杉	良知
委員	坂田	眞澄
委員	田村	雅恵
委員	小濱	樹子
委員	上之園	公子

計 5人

4 議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 教育長報告

日程第3 第1号議案 府中町教育振興基本計画の改訂について(継続審議分)

日程第4 第13号議案 府中町文化財保護事業補助金交付要綱の制定について

日程第5 第14号議案 平成28年第7回府中町議会定例会に提案される教育委員会関係の議案等について

日程第6 第15号議案 平成27年度教育委員会事務点検・評価報告書について

5 職務のため会議に出席した者

教育部長	金藤 賢二	教育次長	戸田 秀生
総務課長	胡子 幸穂	学校教育課長	中坊 京子
社会教育課主幹	沢元 保夫	総務課長補佐	土井 賢二
総務課主任	野田 直子		

6 議事の内容

(開議 午後4時30分)

教育長 出席委員が定足数に達しておりますので、ただいまから定例教育委員会会議を開催します。
本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりでございますが、よろしいですか。

(異議なし)

教育長 よろしいようでございますので、それでは日程第1、「議事録署名委員の指名」を行います。府中町教育委員会会議規則第18条第3項の規定により、私と坂田委員を指名することとしますがよろしいですか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようですので、そのようにさせていただきます。
次に、日程第2、「教育長報告」を議題といたしたいと思っておりますので、報告をいたします。

○10月29日に府中中学校・府中緑ヶ丘中学校の文化祭が行われました。

府中緑ヶ丘中学校の生徒も一生懸命やっていたと感じました。男子の声がとても

大きくきこえました。

府中中学校は歴史ある取り組みだと思いました。出て発表する時だけでなく、席から移動して横で待っている時、壇上に上がる時、壇上から帰る時、それを全部自分たちの発表の一部として捕らえて動いていたという感じを受けました。

○10月29日府中セミナー、10月30日家庭教育フォーラムが行われました。家庭教育は色々なものが支えていて、その中の一つは家族であったり家庭の変化であったりしますが、教育委員会が考えると駄洒落を活用して家族関係を豊かにしていくというテーマは、なかなか出てこないと思います。

○11月3日に府中町学校運営等についての調査検討委員会から答申をいただき、それを受けて記者会見を行いました。

○11月5日に府中小学校・府中中央小学校の学習発表会が行われました。

○11月7日の午前中に府中東小学校公開研究会に行なわれ、午後は府中町総合教育会議が行われました。

○11月9日に府中南小学校公開研究会が行われました。

○11月11日の午前中に臨時議会全員協議会が行われ、夜、府中緑ヶ丘中学校保護者説明会が行われました。

全員協議会では議員さんから答申を受け止め、今後、再発防止にしっかり取り組んでもらいたいという意見がありましたが、これまでの教育委員会の取り組みに対して敬意を表したいといったようなお言葉も頂ました。学校と行政が事案について、一体となって取り組んでいる姿勢が議会からは見えたというふうに言われました。

保護者説明会では、保護者から全体としては、学校が変わってきていると感じられるという意見もありましたが、緊張感を持ってやらなければならないことが、まだまだあるという厳しいご意見もありました。

11月16日に広島県の教育長に取り組んだ方針・方向性について、報告に行きました。

11月17日～18日に文部科学省に報告してきました。

○11月13日にハロー公民館まつりが行われました。

○11月15日に府中町コミュニティ・スクール研修会が行われました。

○11月21日から1年間、府中小学校の東棟を第2府中ひかり保育園が、仮園舎として利用することになりました。

以上でございます。

その他ございましたらお願いします。

学校教育課長 補足させていただきます。広島県の教育長からは、「家庭が必ずしも子どもたちにとって安全な居場所になっていないこともあり、それに対して学校はどこまで補えるかを考えていく必要がある。」「荒れた学校が立ち直るために秩序を保つ、厳しくするということはあるが、それが一体何のためなのかを考えないといけない。中身が伴っていないことになりかねない。」と言われました。

総務課長 補足させていただきます。第2府中ひかり保育園に府中小学校の東棟を1年間貸し出す件についてですが、国の交付金を借りて耐震化工事を行っている為、1年以上貸し出す場合は、届出が必要となりますが、本件は、1年以内ですので、一時的な利用ということで届出は必要ありません。

教育長 それでは、文化祭や学校に行かれた行事等で情報交換をお願いします。

各委員 ○府中中学校文化祭について

1年生6学級と2年生2学級の合唱をみました。2年生は声量があり、一体感がありました。1年半の積み上げられたものだと思います。

生徒会執行部が中心になって、生徒たちも生徒会の指示に従っていたことが凄いなと思いました。

○府中緑ヶ丘中学校文化祭について

3年生6学級の合唱を聞きました。各クラスとも、一つになって歌おうとする気持ちが歌や態度に表れていました。教室で最後のリハーサルの歌い終わった後、「がんばろう～」という声が外まで聞こえてきていたので気合が入っているなとうれしくなりました。

あるクラスの先生は、発表を終えた生徒を近くまで迎えに行き、一人ひとりに笑顔で賞賛していたのに感心しました。生徒もそれに笑顔で答えていたのが印象に残りました。

○府中セミナーについて

「ダニエル・カールさんの講演会」ですが、バリバリの山形弁で話をされて、自慢と謙そんのどちらに偏ってもいけない、バランス良くポジティブシンキングでものを考えようと言われまして、日本人は謙そんの方が大きいので、自分たちが自信を持って、「例えば府中町の良いところは〇〇です。」と胸を張って言えるようになりましようと言われましたことが良かったです。

○府中小学校学習発表会について

1年生は、指揮者なしの中での発表、つまずきながらも、助け合いながら、発表を最後まで立派にやりとげることができていました。

子どもたちが本当に可愛くて、元気いっぱい微笑ましく思いました。

以前は、“あの夏を忘れない”の曲を全校児童で歌っていましたが、今回は、初めての学習発表会を経験する1年生と最後の発表会である6年生が歌っていました。校長先生が「1年生から6年生までこれだけ成長するところをみてください。」とおっしゃったのが良かったと思います。

低学年の先生は、子どもたちが自分でできるところまで丁寧指導されていました。

○府中中央小学校学習発表会について

4年生は、はっきりした声と間の取り方が良かったと思いました。綺麗な歌声で、気持ちが一つになった合唱でした。また、合奏も練習の成果がでていたように思いました。

中・高学年は規律の流れの主体的な学び方のことを大切にされていました。

府中小学校学習発表会と府中中央小学校の学習発表会の共通点は、司会の先生が劇の説明だけではなくて、それぞれの学年のポイント、ここまでのプロセスや見て欲しいところのお話をされていたことで地域の方にとって評価をする観点が変わり、見方が変わってくるのでいいところだと思います。家に帰ってから子どもに、漠然と良かったではなくて、ここが良かったと褒めてあげることができると思いました。

学年ごとに保護者を入れ替えていたので、自分の子どもの学年だけを見ていましたが、学校の取り組みとしては、各学年はどうなのかとか、前の学年からどれだけ育っているのかとか、大きくなったらこんなふうになるということを感じてもらうためにも、学校で全部の保護者が全部の子どもを育てるのであれば、例えば1年と6年、2年と5年、3年と4年の組み合わせのように、せめて二つぐらいの学年をみるような仕組みにした方が良くと思いました。

○府中東小学校研究会について

授業で、人の話を注意深く聴いて、自分の考えと同じところ、違うところを整理し、さらに考えたことを伝えようとしていました。どのクラスも児童は落ち着

いていて学習に取り組んでおり、どの子にも学びが定着していっていきと感じました。

参加した町内全教職員は、課題発見・解決学習の進め方について学びました。これを自分の授業に活かして欲しいと思いました。

自分たちの学習として意識して取り組んでいると思いました。

石井先生の講演会で、「子どもに委ねたら案外できる。」・「(子育てについてもそうなのですが) 正解は子どもたちの中にある。」とおっしゃったのが印象に残りました。

○府中南小学校研究会について

児童の発表で、命をテーマに学んできたことを、歌、群読、体の動きで表現していました。どの学年の発表も、これまで学んできたことを土台にしたものであることが、子どもたちの表情や表現から伝わってきました。

講演会では、柴原先生から心に響く道德教育の在り方を学ぶことができました。大事なのは、自分の思い、考えを、自分の言葉で伝えること、そして、友達が伝えようとしていることをしっかり受け止め、考えること、そうすることにより、主体的に学び合い、語り合う授業につながることを学びました。

府中町全教職員が学ぶべき内容だったように思います。

授業を見なくても児童発表を聞けば、どんな授業を受けてきたのかわかるような発表でした。

柴原先生の話もとても良かったのですが、子どもに聞くということをおっしゃったのが印象に残りました。我という字の我を言葉化するっていうことも大切なことだと思いました。

全体的に落ち着いてきているように思いました。命の学習の取り組みやコミュニティ・スクールのおかげなのか学校自体の雰囲気良くなってきているように思いました。

○府中緑ヶ丘中学校オープンスクールについて

例年になく多くの保護者が参観されました。100名くらいではないかと思えます。去年までと違って、関心が非常に高いように思いました。

開会式、閉会式と生徒会執行部がてきぱきと笑顔で進めているところが良かったと思います。生徒に任せて、生徒主体に進めるという取り組みがなされていました。

府中緑ヶ丘中学校の良さを体験、参観してもらおうと、2ヶ月前から全教職員で準備を進めてきたとのことでした。

授業体験では、児童が興味関心をもってもらおうと色々工夫されていました。

授業者の先生が笑顔で、ていねいな言葉で授業を進めているところが印象良かったです。

部活動体験においても、各部の良さを生徒が中心になってアピールしている姿が見られました。

体験中の児童の姿、参観する保護者の姿から、府中緑ヶ丘中学校の良さを感じ取られたのではないかと思います。

生徒が主役で、授業で、自分から希望して、**little teacher** になって小学生が困っていたら **little teacher** がすぐに駆けつけてローマ字などを教えてあげているのがいいなと思いました。

○府中緑ヶ丘中学校保護者説明会について

校長先生から HP に載せている学校改善の取り組みについて、話を伺いました。

学校経営、生徒指導、授業改善、進路指導、主体的・創意工夫の6つの大項目のもと36の小項目について11月現在の取り組み状況から、4月からの新体制において、丁寧に改善が進められていることがわかりました。

今後も校長先生のもと全教職員が一つになって、安心安全な学校づくりに、進んでもらいたいと思います。

○全体的に変わってきているとういことをみなさんが評価してくださっていることが嬉しかったです。

○府中町コミュニティ・スクール研修会について

自分への信頼を向上させるためには、保護者への信頼と包まれ感、保護者以外の方、地域の方や親戚の方存在が大事だということをおっしゃっていました。

教育長 ありがとうございます。校長会で伝えさせていただきます。ご質問等ございませんか。

(なし)

教育長 ないようでございます。では次にまいります。日程第3、第1号議案「府中町教育振興基本計画の改訂について」を議題といたします。
説明をお願いします。

教育部長 (議案を読み上げ)

4月定例会の継続審議ということで、改訂案としてまとめましたので、詳細につきましては、総務課長が説明させていただきます。

総務課長 府中町教育振興基本計画ということで、平成27年度に作った時に、平成28年度の最初に指標を設定して、それで改訂をしましょうという流れで動いておりました。第4次総合計画に使用した指標を付け加えたところですが、今回の答申を受けまして、府中町教育振興基本計画の中に学校改善の方針を位置づけていった方がよいのではないかとということで、たたき台として作らせていただきました。前回の府中町教育振興基本計画と違っているところは、3ページの府中町教育振興基本計画の概要をご覧ください。基本目標の「あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進」ところに、「信頼される学校教育の確立」が新しく入ったものです。これを受けまして、基本方針・重点施策のところに1-0として、「学校改善、信頼される学校教育の確立」という項目を設けております。この項目は、答申を受けて教育委員会が学校改善の方向性を基にして入れております。本文については、7ページから「基本方針及び重点施策として施策を盛り込んだ形のものになっております。

命の教育の取り組みとして、重点施策1-1-1知・徳・体のバランスのとれた「基礎・基本」の定着の中に赤字で書かせていただきました。徳の豊かな心のところに、「命を大切に作る心を育む教育の推進を図ります。」と「教師と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を深める取り組みを図ります。」ということを入れております。体の健やかな体のところに「学校・家庭・地域が連携した食育を推進し」ということを入れております。これを受けて、2ページの「府中町教育振興基本計画の見直しにあたって」を入れております。これを読んでいただいて、ご意見をいただきたいと思います。

教育長 見ていただいてもすぐに結論という訳にはいかないと思いますので、12月9日までにご意見をいただきたいと思います。

教育長 よって日程第3、第1号議案については、継続審議といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 ご異議ないようでございますので、第1号議案については、そのように決めます。では、次にまいります。日程第4、第13号議案「府中町文化財保護事業補助金交付要綱の制定について」を議題といたします。説明をお願いします。

教育部長 (議案を読み上げ)
詳細につきましては、社会教育課主幹の方から説明をさせていただきます。

社会教育課主幹 府中町文化財保護事業補助金交付要綱についてですが、指定文化財の管理及び保存に関します補助につきまして、町指定の文化財については、既に府中町文化財保護条例と府中町文化財保護条例施行規則に明記してありますが、国あるいは県指定の文化財についての補助金の定めが今までなかったということで、次の議案とも関連してありますが、今、当町には国指定物件はありませんが、3件の県指定の文化財がありまして、その3件の文化財は、多家神社の宝蔵、道隆寺の木造薬師如来座像、紙本墨書田所文書があります。今、多家神社の宝蔵の屋根の檜皮葺き替えをやっておりまして、それに今年度補助金を出すというところで、今まで交付要綱がなかったものですから、交付要綱を決めて出したいということで議案を上げさせていただいております。簡単に中身を言いますと、国または県から補助金の交付決定を受けた事業が対象で、所有者の負担部分の一部を町の方が補助しようというものになっております。

附則にもありますように、この要綱はさかのぼって平成28年4月1日から適用させていただきたいと思っております。

教 育 長 何かご質問ございませんか、

(なし)

教 育 長 ないようでございます。よって日程第4、第13号議案については、原案のとおり可決いたしたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 ご異議ないようでございますので、第13号議案については、そのように決めます。では、次にまいります。日程第5、第14号議案「平成28年第7回府中町議会定例会に提案される教育委員会関係の議案等について」を議題といたします。なお、本件は成案となる前の議案の内容に係るものですので、審議は非公開が適当と思われます。また、非公開とする期間は、府中町議会に議案が提出されるまでとすることが適当と思われます。ついては、第14号議案の議事内容について、非公開とすることに賛成の委員は、挙手をお願いします。

(挙 手)

教 育 長 出席委員の3分の2以上と認め、第14号議案については非公開とし、非公開期間については、議会に議案が提出されるまでとします。それでは説明をお願いします。

教育部長 (議案を読み上げ)

教 育 長 何かご質問ございませんか。

(なし)

教 育 長 ないようでございます。よって日程第5、第14号議案については、原案のとおり

り可決いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようでございますので、第14号議案については、そのように決めます。では、次にまいります。日程第6、第15号議案「平成27年度教育委員会事務点検・評価報告書について」を議題といたします。説明をお願いします。

教育部長 (議案を読み上げ)
詳細につきましては、総務課長補佐の方から説明させていただきます。

総務課長補佐 事前に平成27年度教育委員会事務点検・評価報告書の案を各委員さんにお渡ししておりました。その案を基に11月9日に比治山大学の山田教授とヒアリングをさせていただきました。その結果、ご指摘が多数ありまして、一部修正したものをお配りしております。

大きく変わったところは、2ページの「はじめに」というところで、昨年起こった府中町緑ヶ丘中学校の案件に対してのお詫びやお悔やみを述べておりますのと、学校調査及び第三者委員会の背景調査の結果、今後取り組んでいきますという言葉を入れさせてもらっております。

次に、9ページの全項目に及びますが、なぜこの評価基準にしたのかという理由を明確にした方が良いのではないかとご意見をいただきましたので、「ア 施策の目標」の【評価基準】を加えております。「エ 課題と今後の方向性」について、「小学校と比べ中学校の数値が低い原因として学校紙調査から「もっと考えてみたい、調べてみたいと思う」授業の工夫が中学校では不足していることが考えられます。」という一文を入れさせていただいております。3行目の「学びへの意欲を高める必要があります。」を加えております。

次に、同じく10ページ、「ア 施策の目標」の【評価基準】を加えております。

次に、11ページは大きく変えております。まず、【評価基準】についての中身を変えております。元々が「肯定的に回答する保護者の割合が80%を超える」、「コミュニティ・スクールの数が目標を達成している」でしたが、コミュニティ・スクールの指定校数の目標値を達成しているかどうかのA・Bは変わっておりません。『「学校の教育を信頼(満足)している」の肯定的回答の目標値全ての学校が達成している。』平均ではなくて、個々の学校の数が4校、2校、最終的に肯定的回答の割合が80%以下の学校が1校でもあればDランクとなるように指標の考え方を变えております。その結果、「イ 取組と成果」の(イ)成果7校の平均は87.1%と高い水準を表しておりますが、90%以上が2校、80%以上が4校、80%以下1校となっております。その結果、平成27年度のランクは元々A評価でしたが、D評価に変わっております。そのことが「ウ 自己評価」の理由の最後の一文に、「肯定的に評価する割合が80%以下の学校がありました。」と書かれております。「エ 課題と今後の方向性」についても「80%を下回る学校があります。」という内容を加えております。山田教授から指摘があり、検討した結果、変えさせていただきました。

次に、12ページの「ア 施策の目標」の【評価基準】の下の「過去3年間の県平均(小学校83%、中学校70%)を今後10年間で+5%を目標値とする。」を加えております。「エ 課題と今後の方向性」について、「また、児童生徒の意識調査では、各教科が「好きである」と答える割合が県平均を下回る教科もある。教科への興味・関心を持たせ、主体的に学ぶ意欲を育てる授業改善を進めるよう指導・助言に努めていきます。」を加えております。これは、先生の方から、「授業がわかるというのが高いのは出ているのですが、授業が好きであるというのはどうなのだろうか。」と問いかけがありまして、授業が好きであるという数値は、まだ高くないという分析結果も出ておりましたので、今後はそういったところも上げていこうという意識を持って取り組んでいこうということで、この文言を加えさせていただきます。

ました。

次に、13ページの「ア 施策の目標」の【評価基準】の下の「10年後（平成37年度）の目標値を現状の施設の利用状況等を勘案し、1,110件とし、現状値からそれを5年で平均的に達成できるよう単年度の目標値とする。（なお、5年以降は飽和するため現状維持としている。）を加えております。

次に、14ページの「ア 施策の目標」の【評価基準】の下の「10年後（平成37年度）の目標値を参加者及び活動者の状況等を勘案し、510人とし、現状値からそれを平均的に達成できるよう単年度の目標値とする。」を加えております。こちらから先生の方から「青年向けのイベントを考えた方が良いのでは」という提案がありまして、「エ 課題と今後の方向性」で「青年層向けのイベント（ダンス・バンドなど）の開催などの検討も必要です。要は、高齢化が進んでおりますので、青年層を取り込むためにもこのようなイベントを開催していく必要があるのではないだろうか」ということで、加えさせていただきました。

次に、15ページの「ア 施策の目標」の【評価基準】の「10年後（平成37年度）の目標値を現状の施設の理言おう状況等を勘案し、400,000人とし、現状値からそれを平均的に達成できるよう単年度の目標値とする。」を加えております。

次に、16ページの「ア 施策の目標」の【評価基準】の「町内全ての小中学校校舎の耐震化を図るのを目標値とする。」を加えております。「イ 取組と成果」の（イ）成果の対前年増減の目標値を「2」に訂正させていただいております。

最後に、これらを修正したものを山田教授に送らせていただき、19ページの点検・評価をいただいております。ご意見いただけたらと思っております。

教 育 長 ご意見等ございませんか。

坂田委員 総合評価の理由のところでは9ページでは「県平均を上回ったものの」になっておりますが、10・11・12ページでは「超えた」となっておりますので、統一した方が良いのではないかと思います。

課長補佐 「上回る」で統一させていただきます。

小濱委員 12ページの就学支援の充実のところでは、取組は発達障害の人たちに対する教育相談・学習支援の充実を図るとか、教育支援員による一人一人に応じた対応をすることとなっておりますが、「授業はよくわかります。」という項目で評価していることが、全然つながらないように思います。

学校教育課長 それぞれの特性を踏まえた授業、個々の成長を促すような授業改善を行うということで、一人一人の子どもたちに「授業がよくわかる」ように指導・支援の充実を目指しています。それを検証する意味で「授業はよくわかります。」という項目にしております。

小濱委員 学校の大きな器の中で、そのような視点で授業をするというのは大切だと思いますが、特別支援の必要な子どもにいかにか支援をするかというふうにとれたので、つながらないように思いました。

上之園委員 取組が書いてあるので「特別支援の考え方を活かした授業改善を行っている。」「研修会を行っている。」「特別支援員の配置数」等の項目が良いのではないかと思います。次回は、取組に合わせて指標を変えていくと良いと思います。

教 育 長 次回は取組に合わせた指標の観点を考慮して作成するということにします。他に
ご意見等ございませんか。

(なし)

教 育 長 ないようでございます。よって日程第6、第15号議案については、原案のとおり可決いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 ご異議ないようでございますので、第15号議案については、そのように決めます。以上で本日の議事日程を全て終了いたしましたので、これをもって本日の会議を閉会いたします。

(閉議 午後2時30分)